

日本胸部外科学会教育施設幹事会議事録

日時：平成24年6月2日

場所：神戸市立医療センター中央市民病院

議題：

1) 平成23年度の会計報告がなされた。協議会監事丹羽宏先生、小宮達彦先生より監査を受けたことを報告し、出席幹事より会計報告が承認された。

2) 日本胸部外科学会理事会よりの報告が千原幸司先生より行われた。主に、学会主体の年間統計についての報告であった。現在、各学会で行なっている手術統計は1年毎に行われているが、症例の少ない施設では%表示として発表されると、全国集計より悪い結果となってしまう。そこで、3-5年の集計とすべきか検討を有する。また、プレスリリースなどの際には統計全体の成績以外は発表しないことが検討されている。

中山正吾先生より所謂ランキング本などの商業出版社より施設成績提出を求められる機会があるが、少なくとも JACVSD、冠動脈外科などの統計基準を統一して貰いたいとの要望があった。

岡田行功先生より商業雑誌への手術成績報告は施設に任せるのではなく、各学会本部よりの発表で済ませるように申合せできないかとの検討課題が出された。

坂本喜三郎先生より DPC 統計、JACVSD との比較についての意見が述べられた。DPC 統計でも術前リスクを考慮した集計が出来る時代となっており、JACVSD の統計データをこえるものを作成する可能性がでてきている。したがって、学会のデータを政治的に利用するためには、財政的な裏付けがなされるなら、DPC を超えるものを構築する必要があるとの意見が出された。

3) 千原幸司先生より日本胸部外科学会学会誌の **impact factor** を引き上げる必要性が述べられた。このため出来る限り引用文献として学会誌の文献を上げるようにとの要望があった。

4) 日本胸部外科学会理事として角秀秋先生が選出されているが、任期満了が近づいており協議会からの次期候補を考えるべき時期との意見が出された。

文責

日本胸部外科学会教育指定施設協議会事務担当

公立豊岡病院組合豊岡病院 胸部外科

那須 通寛